AKB English Camp

ＡＫＢ　Future Project 推進委員会

■実施日　平成 30 年７月 26 日（木）－28 日（土）
■参加者　北海道登別明日中等教育学校 18 名
■ｽﾀｯﾌ　室蘭工業大学留学生 ４名
北海道登別明日中等教育学校教諭　２名
ＡＬＴ ２名
■日　程　１日目（７月 26 日）
Opening Ceremony
Self-introduction / Discussion
２日目（７月 27 日）
Warm-up activity / Farm tour
Discussion
３日目（７月 28 日）
Presentation / Farewell party

未来の北海道における農業と食について考える

キャンプ中、参加生徒は４～５名のグループに分かれ、北海道の農業について考えたり、体験したりする活動を行いました。

≪１日目≫

事前に課されていた「北海道の良さを活かした弁当」のイラストを留学生に発表しました。留学生の助言のもと、グループごとに １ つのアイデアにまとめ、発表しました。生徒 １ 人 １ 人、北海道の良さを考え、お互いに考えを深めました。また、翌日訪問するグリーンファームについての文章を読み、農業に関する意見交流を行いました。

≪２日目≫

グリーンファームを訪問し、有機栽培の魅力や、育てる難しさを担当の方より英語で説明していただきました。その後、食材を収穫し、生徒 １ 人 １ 枚ピザを作り、取れたての食材のおいしさを味わいました。

訪問終了後『Future plan for the agriculture in Hokkaido』をテーマに、各グループで、北海道の農業の未来の在り方を考え、調べ、発表に向けた準備を行いました。実際にグリーンファームを訪問したことにより、教科書やインターネット等では学ぶことができないことを学び、生徒たちの農業に対する考えも深まりました。

≪３日目≫

グループで考え、調べた内容を模造紙にまとめ、発表を行いました。発表後には、英語による質疑応答を行いました。

実際に、農業について体験することや、様々な研究をしている留学生と意見を交換することで、今後の生徒たちの課題研究を進める上でとても有意義な時間になりました。

コミュニケーションスキルの向上

３日間、活動中はもちろん、連絡等もすべて英語で行いました。４ か国から集まった留学生と積極的にコミュニケーションを取り、文化や習慣についても理解を深めようと努力をしていました。また、様々な英語表現を身に付けるとともに、英語を用いて伝えようとする姿勢も身に付けました。英語を用いてコミュニケーションをとることを通じて様々なことを学ぶことができる楽しさも、体感していました。

【生徒の感想】（一部）

- 国によって英語の話す速さ、発音の仕方が違うことがわかり、色々な英語を聞くことができた。
- ポスターを作成し発表することは決して簡単ではなかったが、その分やりがいを感じることができた。留学生は本当に親切な人ばかりで、もっと英語を話すことができるようになりたいと思った。
- 英語を聞いて理解することができたが、英語で自分の意見を言うことが難しかった。日頃から授業などで単語を覚えることが大切だと感じた。